

【資料4】

第3回角田市長期総合計画審議会資料 「かくだワークショップ」の結果について

2021年3月26日

【目次】

1. 開催内容		P2
2. 成果品	2. 1 発表企画一覧	P7
	2. 2 各グループの発表企画	P8
3. 講評の概要		P16
4. 資料編(成果品)	4. 1 角田市地図(全図、拡大図)	P17
	4. 2 樹形図	P19
	4. 3 角田市民が考える事業一覧	P20
	4. 4 「角田市の将来像」アンケート	P23

1. 開催内容

30年後を見据えた「角田市の将来像」を見出すことを目的に、主に市民を対象として1月から2月にかけて4回のワークショップを開催

◆ 目的

市政の基本的な理念となる長期総合計画の基本構想に係る協議を進めるため、角田市民が、今後の角田市の有るべき姿等について、自由に話合える場を設け、イメージを共有し、角田市の将来像を見出すことで、長期総合計画審議会における都市像の協議に役立てるもの。

◆ 対象

市民、市内在勤者、大学生(東北学院大学)

◆ 開催日時および参加人数

	第1回	第2回	第3回	第4回
開催日	2021.1.13(水)	2021.1.27(水)	2021.2.10(水)	2021.2.24(水)
開催時間	18:00~20:00			
参加人数	43名	48名	46名	44名

※ 参加者計51名(平均年齢37.76歳)

◆ 開催会場

かくだ田園ホール(市民センター)

◆ 企画運営

ファシリテーター : 東北学院大学 教養学部 地域構想学科 教授 柳井 雅也 氏

アドバイザー : 東北経済産業局(RESASを活用した施策立案支援事業)

企画・運営 : 七十七リサーチ&コンサルティング(株)、角田市企画財政課

1. 開催内容

第1回ワークショップ

地図と模造紙に夢や希望、課題等を記載した付箋紙の貼り込み

◆ 実施内容

第1回 地図と模造紙を用いたワークショップ

■ 角田市の地図に付箋紙を貼り込む

◇ 青の付箋紙

「あったらいいな」、「これが欲しい」、「これができる」

◇ 赤の付箋紙

「ここが危ない」、「ここが不便」、「ここが邪魔」

◇ 黄の付箋紙

30年後に必要なもの、欲しいもの

■ 模造紙に付箋紙を貼り込む

◇ 青の付箋紙に地図に載らない事項(コミュニティづくり、事業継承等)を記入

◇ 樹形図のように育てを行う

【付箋紙記載方法】

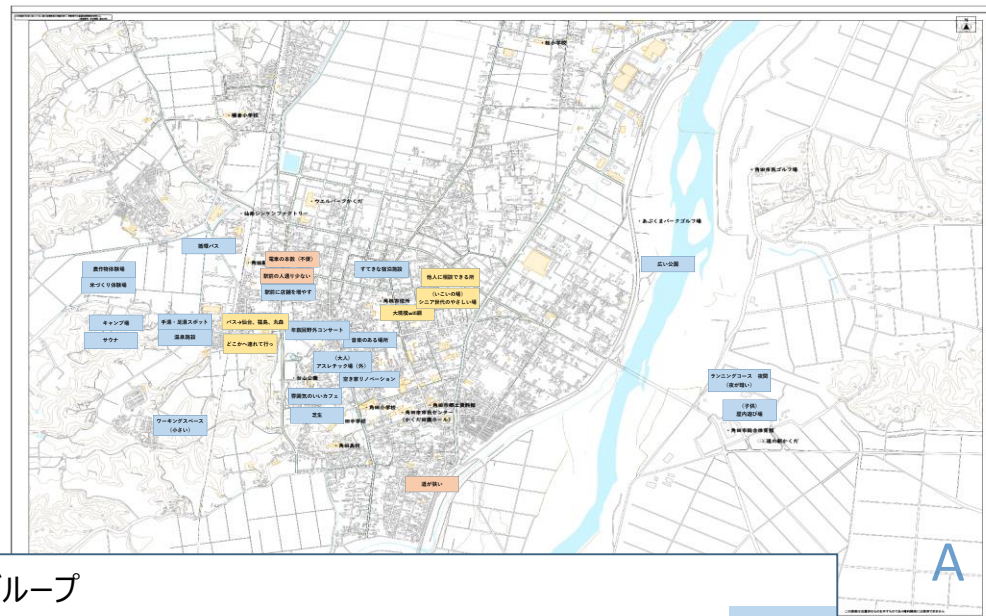
○ 赤と青の付箋紙は、「短期・中期・長期」に区分して記載
A: 短期(1~3年)、B: 中期(4~6年)、C: 長期(10年前後)

○ ステークホルダー

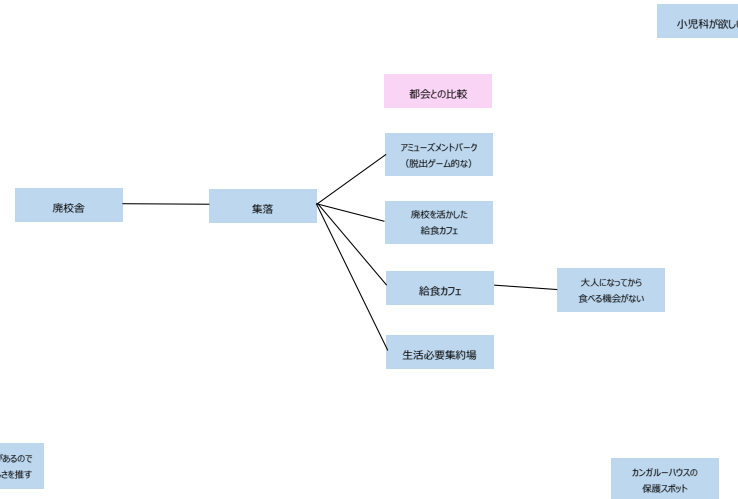
- ① 市民が単独でできる
- ② 市民+行政
- ③ 市民+支援機関(商工会議所等)+行政
- ④ その他(具体的に記載)

(付箋紙イメージ)

A-③ Wi-Fi付の居場所



Aグループ



1. 開催内容

第2回ワークショップ

事業一覧と模造紙に貼り込んだ付箋紙の「まとめり」を見出し、企画立案に向け話し合い

◆ 実施内容

第2回 「角田市民が考える事業一覧」作成・話し合い

■ 地図に貼付した付箋紙を事業一覧に貼り込む

■ 似たような企画(同じ期間内)を再度貼り替えてまとめていく

◇ 期間内でまとめたものをネーミングして書き込む

◇ 期間を越える「まとめり」は線で結ぶ

■ 模造紙に貼り込んだ付箋紙を樹形図に育てる

■ 話し合い

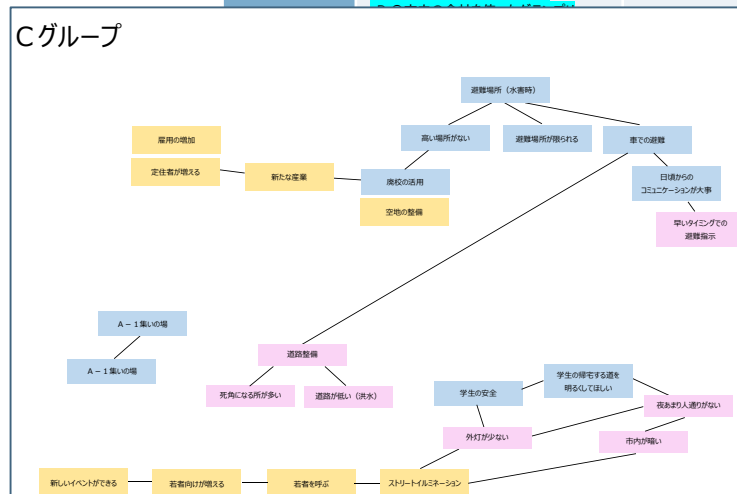
◇ 自分たちが考えた企画の特徴と課題

◇ 市役所で関係する「課」はどこか？

角田市民が考える事業一覧 (Bグループ)

①：角田市民が単独できる ②：角田市民+行政 ③：角田市民+支援機関(商工会議所やNPO)+行政 ④：その他(具体的に記載)

	短期(1~3年)	中期(4~6年前後)	長期(10年前後)	不明
ハード ●施設 ●道路 ●河川等	<ul style="list-style-type: none"> ・B-③オートキャンプ場 ・B-②温泉、スケボー場、ボルタリング ・B-①キャンプ場 ・B-②フラネタウム ・B-①集いの場 ・B-①お年寄りの集いの場 ・B-①子供達の遊び場 ・B-①駄菓子屋 ・B-③駐車場が遠い、科学宇宙をもっと身近に ・B-②角田の街中の曲がり角や交差点 ・B-③朝の渋滞解消 	<ul style="list-style-type: none"> ・B-③ロケット新しくしたい ・B-③臥牛城址の周りに水の流れ ・B-②図書館以外の勉強場所 ・B-③公園が欲しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・B-③休日専門の病院 ・B-②根本まで行く途中の橋 	
ハード+ソフト ●空家で介護 ●自習の場所 ●広場で大道芸	<ul style="list-style-type: none"> ・B-③工業団地 ・B-③街中の直売所 あぐりっと 道の駅との連携 ・B-③一方通行化による人の滞留ベンチ 駐車場 ・B-①YouTubeラジオの発信場所 ・B-①震栗レストラン(廃校場所) ・B-③農泊体験 ・B-③農泊の受付 スタート地点 	<ul style="list-style-type: none"> ・B-①街灯が少ない ・B-①歩道ブロックがない ・B-①電車の本数を増やして欲しい ・B-①田んぼを使った学び・遊び ・B-③泥リンピック(市民参加型) ・B-①クラフトビール、地酒づくりお祭り ・B-①廃業対策・事業承継 	<ul style="list-style-type: none"> ・B-③福祉施設 ・B-①大学(農業) ・B-①職業訓練校→そのまま市内の会社に就職できる学校 ・B-①お医者さんを育てる ・B-①病院・小児科足りない ・B-③スポーツしたい人が泊まれる合宿所・ホテル 	



育てる環境づくり
なる取組
生を巻き込む
によるチェック機能

1. 開催内容

第3回ワークショップ

これまで作成してきた地図、樹形図および事業一覧を踏まえて企画書を作成

◆ 実施内容

第3回 地図、樹形図、事業一覧をもとに企画書を作成

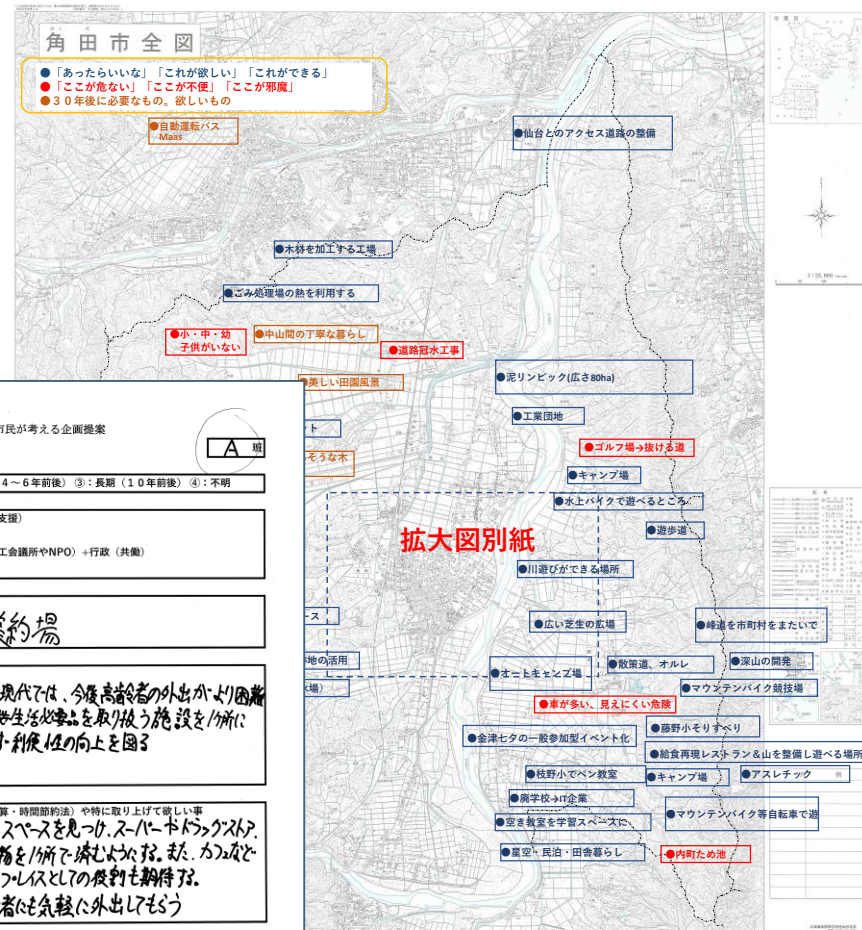
- 地図、樹形図、事業一覧を見ながら振り返りと他グループの考え方を確認
(必要に応じて樹形図、事業一覧への追記)

■ 企画書作成

- ① 個人で作成作業
- ② 少人数で企画の相互紹介と育て
- ③ グループ全体で育て

■ 発表に向けた話し合い

- ① 主な企画をピックアップして統一テーマを決定
- ② 発表者決定



角田市民が考える企画提案

いづれかに○ **A** 項

いづれかに○

期間 ①:短期(1~3年) ②:中期(4~6年前後) ③:長期(10年前後) ④:不明

いづれかに○

共働相手 ①:角田市民が単独できる(支援)
②:角田市民+行政(共働)
③:角田市民+支援機関(商工会議所やNPO)+行政(共働)
④:その他(具体的に記載)

テーマ **生活必需品集約場**

テーマの説明
高齢化が深刻となっている現代では、今後高齢者の外出がより困難になると考えらる。そのため、生活必需品を取り扱う施設を1か所に集約することで高齢者の外出利便性の向上を図る

アイデアの提案(こんな方法がある・予算・時間節約的)や特に取り上げて欲しい事
廃校舎や空き家が集約したスペースを見つけ、スーパーやドラッグストア、ホームセンターを誘致し、買い物場所を増やす。また、カフェなどの飲食店も設けることでカフェレスとしての役割も期待。買い物バスを運行し、高齢者にも気軽に外出してもらう

関係課 (●は中心となる組織)
まちづくり交流課、社会福祉課

備考(こんな人がいる、こんな場所が使える等)

1. 開催内容

第4回ワークショップ 企画書の総仕上げを行い、企画発表会を実施

◆ 実施内容

第4回 企画書の育て作業と企画の発表

- 企画書の育て
- 発表企画の話し合い
- 発表会
- 講評

I 生活必需品集約場

テーマの説明

いる現代では、今後高齢者の外出がより困難のため、生活必需品を取扱う施設を1ヶ所に集約し、利便性の向上を図る。



集約したスペースを見つけ、スーパーやドラッグストアを誘致し、買い物が1ヶ所で済むようにする。また、施設を設けてイベントや会話をきっかけに自宅、職場、サードプレイスとしての役割も期待する。スーパーや病院を巡回するコースを整備し、高層ビルに外出できる環境を整備する。

関係課
社会福祉課
商工観光課



角田市の魅力の発信!!!

テーマの説明

市内全体を活気づけることを目的とした地域住民参加型の魅力発信ツール



アイデア・工夫した点

- ◆ YouTubeを利用し、映像として商店街や道の駅、市民の魅力や良さを発信。
- ◆ 地域ラジオ等を設置し、市民を巻き込んだローカルラジオ（イメージ:コミュニティFM）
- ◆ 個人経営の店の商品情報、特産品の案内、学生参加のコーナー（雑談会）、世代・性別を超えた住民同士の交流、イベント案内の発信。
- ◆ 有志団体が立ち上げ、継続した取組み（収入源:既存の番組枠を購入しテレビ番組を放送、企業紹介による収入、マスコットやイベントによる収入等）とする。

関係課 まちづくり交流課
商工観光課
総務課(広報)

2. 成果品_発表企画一覧

企画発表会では、グループごとに一押し企画を発表

グループ	テーマ
グループA	駅前の活性化
グループB	角田市の魅力の発信！！
グループC	角田から宇宙へ
グループD	道の駅の活用と地産地消と給食
グループE	【廃校利用】宇宙と学びと産業 市民の交流から生まれる価値観
グループF	角田リゾート構想
グループG	廃校を利用した交流人口の増加
グループH	【廃校(藤尾小)利用】角田のくらし体験型宿泊施設

2. 成果品_各グループの発表企画

グループA 「駅前活性化」

駅前の活性化

テーマの説明

駅前を活性化させることで、駅前を拠点に市内の公共機関や商業施設へのアクセスを充実させる。

市民の外出や生活への手助けとなり、居場所づくりへつなげる。



アイデア・工夫した点

- ◆ バス待ちの人がくつろげる場所をつくる。(子供が遊べるスペース、お年寄りが座れるベンチ、若者がくつろげるスペース、お店(従来の飲食店をもっと活用)、カフェ、待合スペース)
- ◆ 30分に1本バスの運行を行う。(子供やお年寄りが見やすくするため、右回り・左回りなど、わかりやすい表示をする。)
- ◆ アクセスバスは、銀行コース・スーパーマーケットコース・公共施設コース、病院コース、文化施設コース、公園コース、神社仏閣コース等、複数設ける。

関係課 まちづくり交流課
商工観光課
都市整備課



2. 成果品_各グループの発表企画

グループB 「角田市の魅力の発信！！！」

角田市の魅力の発信!!!

テーマの説明

市内全体を活気づけることを目的とした地域住民参加型の魅力発信ツール



アイデア・工夫した点

- ◆ YouTubeを利用し、映像として商店街や道の駅、市民の魅力や良さを発信。
- ◆ 地域ラジオ等を設置し、市民を巻き込んだローカルラジオ（イメージ：コミュニティFM）
- ◆ 個人経営の店の商品情報、特産品の案内、学生参加のコーナー（雑談会）、世代・性別を超えた住民同士の交流、イベント案内の発信。
- ◆ 有志団体が立ち上げ、継続した取組み（収入源：既存の番組枠を購入しテレビ番組を放送、企業紹介による収入、マスコットやイベントによる収入等）とする。

関係課 まちづくり交流課
商工観光課
総務課（広報）

2. 成果品_各グループの発表企画

グループC 「角田から宇宙へ」

角田から宇宙へ

テーマの説明

角田市から宇宙で活躍できる人材作りを目指す。
宇宙に関する施設をつくることにより角田の魅力を増やす。



アイデア・工夫した点

- ◆ 東北初の宇宙飛行士学校、または模擬訓練所や体験型の施設、各種実験を行えるような施設を作ることにより他地域からの小中学校からの修学旅行や観光の需要が期待できる。
- ◆ 宇宙飛行士を目指せる自然科学分野の学校への進学に必要な専門的知識、語学(英語・ロシア語)を学ぶ学校等の施設、および宇宙関係の施設をつくる。
- ◆ より多くの人に角田の魅力を発信し、観光・イベント・移住など様々な分野で盛り上げる。角田産食材を使用した宇宙食の開発を行う。
- ◆ JAXAとの提携、台山公園・Kスポ等の活用

関係課 商工観光課
まちづくり交流課
都市整備課
生涯学習課



2. 成果品_各グループの発表企画

グループD 「道の駅の活用と地産地消と給食」

道の駅の活用と地産地消と給食

テーマの説明

角田で生産された食材を地元の飲食店や学校給食で提供することで地元農作物の消費を促し、農業分野の経済を活性化させることにより、より良い農作物の生産を可能とする。

道の駅を防災拠点として、人が集まれるスペースを設けるとともに、多くの農作物を販売できれば、新たな名産ができる。



アイデア・工夫した点

- ◆ 体験学習等で収穫体験等をし、後日給食に提供することで、農業がより身近なものとなる。
- ◆ 学生に生産から収穫、販売まで協力してもらうことで、農業の流れを体験し、職業の選択肢の一つとしてもらう。
- ◆ 道の駅で学生が生産した作物を使い、学生とコラボした商品や料理等を提供。(例:秘伝豆の収穫⇒道の駅のイベントで学生にブースを提供⇒自分たちで加工・販売)
- ◆ 防災ウォークをしながら道の駅に集まり防災訓練や非常食の試食等を含んだイベントを開催する。
- ◆ ミニストップから道の駅に至るまでの道沿いに1次産業から7次産業までを揃えた工業地帯をつくる。

関係課 商工観光課、まちづくり交流課
農林振興課、防災安全課
教育総務課、学校給食センター



グループE

「【廃校利用】宇宙と学びと産業 市民の交流から生まれる価値観」

【廃校利用】宇宙と学びと産業 市民の交流から生まれる価値観

テーマの説明

日本一 宇宙おしゃれな地方 角田市計画 発信!
(未来を担う子どもたちが運営する角田の事業)
市内の若者(10~20代)に学業以外の学びと自由な空間を提供し、
住んでいる街に誇りを持たせ、地元での起業、就職等を促進。
市民が集まり、ものづくり、暮らしの知恵を共有できるスペースづくり。

アイデア・工夫した点

- ◆ 角田市×アイリスオーヤマ 地上プラネタリウム
 - ・ 台山公園ロケット展望台
 - ・ 四方山 斗蔵山から一望できるアイリスオーヤマLED街灯プラネタリウム
 - ・ 校庭プラネタリウム
- ◆ 宇宙服 宇宙食 無重力体験
 - ・ JAXAとの協力でカジュアルな宇宙服、作業着、道の駅用など
 - ・ 角田市統一ウェア
 - ・ モスバーガーと提携したライスバーガー(宇宙食)
 - ・ 台山公園に無重力体験施設もしくは地上から上空に飛び立つカプセル盤バンジージャンプ
- ◆ 休日・学校帰りに気軽に立ち寄り、市内の農家、飲食店を交え若者と
お年寄りの交流スペースの設置(廃校を利用 おじいちゃんおばあちゃんから学ぶ角田市文化交流 農業体験と宿泊)
- ◆ カフェスペースを併設したフリースペースの設置
- ◆ 市外からも来てもらえる魅力ある食材の発見、料理の創造
- ◆ 角田市の日本一のキクラゲ農家のキクラゲ料理
- ◆ 料理教室、起業体験の開催
- ◆ 校庭アウトドア
- ◆ 角田高校、中学校の部活に地域活性部をつくり、様々な事業を地域活性を含めた事業にしながら将来の就職先、独立支援を行う。
- ◆ 新しい事業を学生が生み出し収支を含めた運営を体験できるような環境づくりを行う。
- ◆ 校庭にボルダリング設備を設ける。
- ◆ 廃校のメリットとして教室を個室として様々な用途に利用可能

関係課 まちづくり交流課
商工観光課
農林振興課



グループF 「角田リゾート構想」

角田リゾート構想

テーマの説明

道の駅周辺は、土地がありアクセスも良いが、河川敷は何もなく寂しい。土手や河川を活用し、日常から非日常まで楽しむことができる環境を整備。

道の駅とKスポだけでは集客は難しく、市内外の老若男女が行きたくなる場所をつくりたい。

年間を通して「みて」「収穫して」「触って」「体験して」「味わって」楽しめる角田にしたい。



アイデア・工夫した点

- ◆ 財政難のため、出資を募るクラウドファンディングで温泉施設を整備し老若男女問わず集客。
- ◆ 総合体育館にボルダリング、交通公園に遊具を増設。
- ◆ 阿武隈川沿いの耕作放棄地等を活用し、花(梅)を植えて、梅並木を目指す。⇒ 梅を使った商品の開発も
- ◆ ジェットスキーやカヌー、ボート等ができる環境の整備。
- ◆ ドッグランを整備し、里親マッチング等を開催。(高齢化に伴いペットを飼う世帯が増加 ⇒ ペットを連れて道の駅に行ける環境を整備)
- ◆ いも煮会場やオートキャンプ場を整備し、角田の食材の広報につなげる。

関係課 まちづくり交流課
都市整備課、商工観光課
農林振興課、生活環境課
生涯学習課



グループG 「廃校を利用した交流人口の増加」

廃校を利用した交流人口の増加

テーマの説明

廃校を利用（施設をゼロからつくるより低コスト）して、レストランや宿泊機能を整備し、食事や体験、宿泊を一体化した施設を整備。
交流人口を増加させることで、農業の強化や雇用創出を促す。



アイデア・工夫した点

- ◆ 廃校を拠点に、古民家(空き家を利用)とも連携し、宿泊施設を整備。
- ◆ レストランで給食を再現したり、オシャレなご飯を提供。
- ◆ 学校裏の遊べる場所（例：藤野小学校の裏側の山風の土地を整備してアスレチック等の他、宿泊や農業体験まで一体化した場所をつくる）
- ◆ バスを整備 ◆ 農業体験
- ◆ サイトでの予約を可能とする。
- ◆ 年中、何かのイベントを開催（例：春=桜を活かした花見、夏=祭り、冬=イルミネーション）
- ◆ 一泊2日でジェットスキーを楽しむ施設を阿武隈川の東側につくる案が他班から出ているがその拠点として藤野小学校跡を利用する。
- ◆ 宿泊施設等の運営は星野リゾートの様な企業への委託を考える。

関係課 まちづくり交流課
農林振興課
商工観光課、総務課



グループH 「【廃校(藤尾小)利用】 角田のくらし体験型宿泊施設」

【廃校(藤尾小)利用】 角田のくらし体験型宿泊施設

テーマの説明

角田は、国道4号と6号に挟まれた地域で、独特な文化・くらしが残っている状態であるが、地域の拠点となっていた学校が無くなることによって角田の活力は失われてしまう。廃校には角田の暮らしを体験しながら宿泊もできる施設に生まれ変わってほしい。

まずは、地域の人が、廃校を活用した施設を利用しやすい環境にして、その先に、外部からの体験者と交流していく施設を整備すべきと考える。宿泊者が農作業や木工、わらじ網、角田の技術の体験等もできるようにする。まずは地域の人に覚えてもらう。



アイデア・工夫した点

- ◆ 農業(米・豆・梅)の仕事体験および宿泊体験ができる。
- ◆ 大工さん指導の下で木工作業
- ◆ わら細工・竹細工等の木工作業を習得 ◆ 郷土芸能を鑑賞、体験
⇒人口減少に伴い技の伝承が困難
⇒まず地元民が技を知る必要
- ◆ 釣り堀
- ◆ 校庭でドローンの操作技術を体験・習得
- ◆ カフェスペースで郷土料理(和食・ユネスコ文化遺産)を食べるだけでなく、調理も体験
- ◆ 野外フェスティバル
- ◆ 地域の人が集うスペースを整備



関係課 まちづくり交流課
生涯学習課
農林振興課

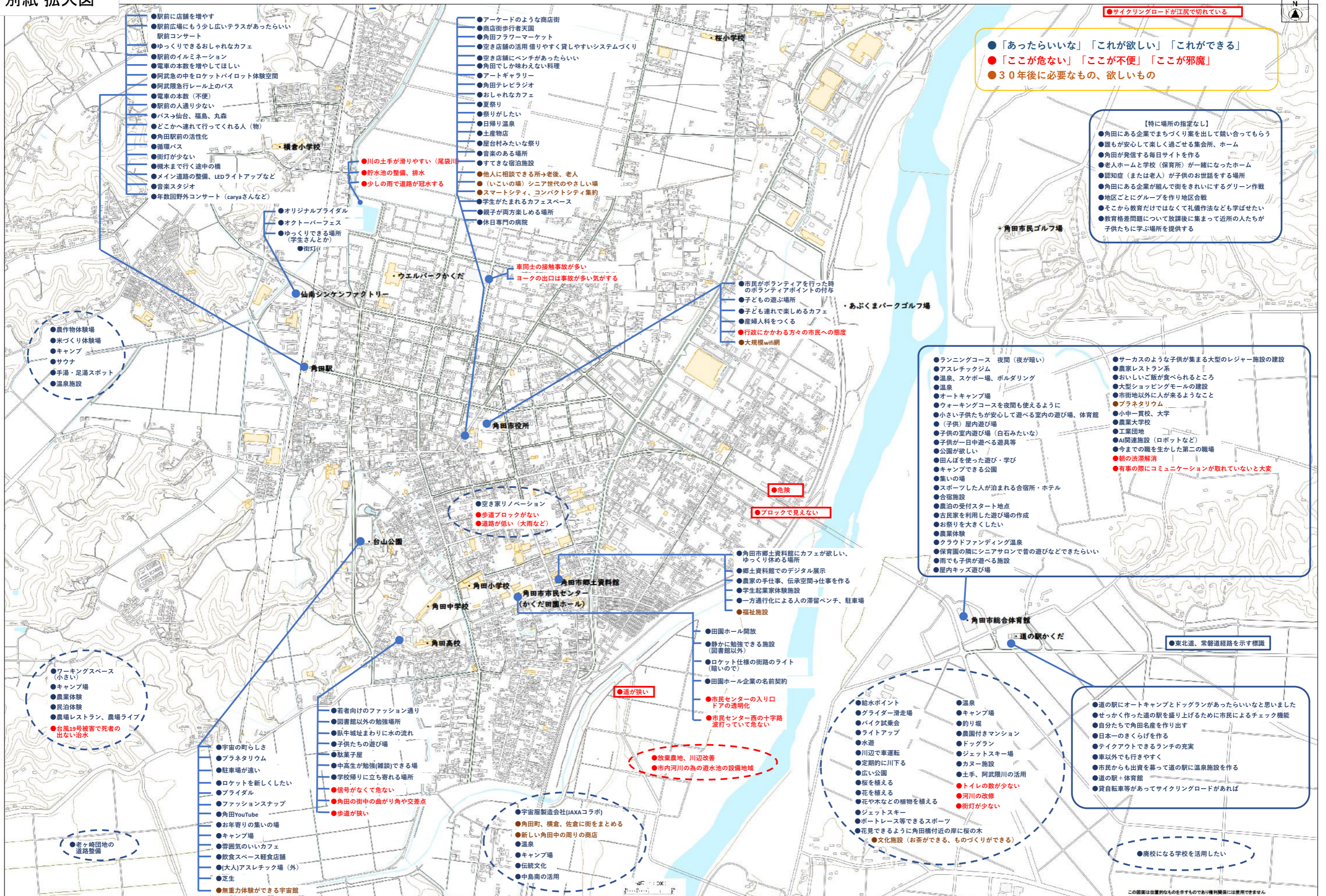


ファシリテーターの東北学院大学 柳井教授と黒須市長の講評

柳井 教授	黒須 市長
<ul style="list-style-type: none">➤ こんなに出席率の高い市民ワークショップは初めてであり、市民の角田愛を非常に感じるワークショップであった。➤ 人口減少時代を乗り越えていくためには、18歳までの若者たちが輝けるような地域づくりが必要であると感じた。➤ 昼間人口が多いという角田の特徴を活かしきれておらず、進出企業等に対し地元への貢献活動を積極的に要請すべきである。➤ 今回のワークショップを通じて、①角田駅前の居場所づくり、②道の駅の利活用、③廃校舎利用、④JAXAの活用という4つの課題が浮き彫りになったと思われる。➤ ①角田駅前の居場所づくりでは、「サードプレイス」=第三の居場所づくりを意識した取組が必要である。➤ ②道の駅の利活用では、健康や防災など、あらゆる側面を繋ぎ合わせながら、道の駅のあり方を検討していくべきである。➤ ③廃校舎利用では、飲食関連施設とするだけでなく、学びの場として人を育てる拠点とすることも検討すべきである。➤ ④JAXAの活用では、観光という側面だけではなく、JAXAで働く人を子どもたちへの教育の場で活用する取組を講じるべきである。➤ 今回のワークショップが、市民自身が角田をよく知る機会となり、角田の可能性を見つめ直す良いきっかけになったと感じる。	<ul style="list-style-type: none">➤ 今回のワークショップでまとめられたプランは、審議会などでしっかりと議論したうえで、総合計画に反映させていきたいと考えている。➤ そのためにも、今後も市民のみなさんと計画策定に向けた意見交換ができる機会を作っていきたいと考えている。➤ 市の計画づくりの主役は、あくまで市民の皆さんであるということが本来のあり方であり、市の職員はそのサポートを通じて、市民と一緒に汗をかきながら、共に計画づくりに取り組んでいく存在である。➤ 今回のワークショップにおいて、世代や職種の枠を超え、多様な市民が一堂に会し、お互いの顔を見ながら議論できたことは、とても素晴らしいことであると感じている。➤ また、職種が違う人たちが集まったことで、今までにはない新たな発想が生まれるきっかけとなっており、そのようなことが、まさしく角田の未来に向けたエンジンになっていくものと思われる。

4. 資料編(成果品) 角田市地図

別紙 拡大図



- 駅前店舗を増やす
- 駅前広場にもう少し広いテラスがあったらいい
- 駅前コンサート
- ゆっくりできるおしゃれなカフェ
- 駅前のイルミネーション
- 電車の本数を増やしてほしい
- 阿武急の中をロケットパイロット体験空間
- 阿武急行レール上のバス
- 電車の本数(不便)
- 駅前の人通りが少ない
- バス→仙台、福島、丸森
- どこかへ連れて行ってくれる人(物)
- 角田駅前の活性化
- 循環バス
- 街灯が少ない
- 機木まで行く途中の橋
- メイン道路の整備、LEDライトアップなど
- 音楽スタジオ
- 年数回野外コンサート(caryaさんなど)

- オリジナルプライダル
- オクトーバーフェス
- ゆっくりできる場所(学生さんとか)
- 街灯

- 川の土手が滑りやすい(尾袋川)
- 貯水池の整備、排水
- 少しの雨で道路が冠水する

- アーケードのような商店街
- 商店街歩行者天国
- 角田フラワーマーケット
- 空き店舗の活用 借りやすく貸しやすいシステムづくり
- 空き店舗にベンチがあったらいい
- 角田でしか味わえない料理
- アートギャラリー
- 角田テレビラジオ
- おしゃれなカフェ
- 夏祭り
- 祭りがしたい
- 日帰り温泉
- 土産物店
- 屋台村みたいな祭り
- 音楽のある場所
- すてきな宿泊施設
- 他人に相談できる所→老後、老人
- (いこいの場) シニア世代のやさしい場
- スマートシティ、コンパクトシティ集約
- 学生がたまるカフェスペース
- 親子が両方楽しめる場所
- 休日専門の病院

- 車同士の接触事故が多い
- ヨークの出口は事故が多い気がする

●「あったらいいな」「これが欲しい」「これができる」
●「ここが危ない」「ここが不便」「ここが邪魔」
●30年後に必要なもの、欲しいもの

【特に場所の指定なし】
●角田にある企業でまちづくり案を出して競い合ってもらおう
●誰もが安心して楽しく過ごせる集会所、ホーム
●角田が発信する毎日サイトを作る
●老人ホームと学校(保育所)が一緒になったホーム
●認知症(または老人)が子供のお世話をする場所
●角田にある企業が組んで街をきれいにするグリーン作戦
●地区ごとにグループを作り地区合戦
●そこから教育だけではなくて礼儀作法なども学ばせたい
●教育格差問題について放課後に集まって近所の人たちが子供たちに学ぶ場所を提供する

●ランニングコース 夜間(夜が暗い)
●アスレチックジム
●温泉、スケボー場、ボルダリング
●温泉
●オートキャンプ場
●ウォーキングコースを夜間にも使えるように
●小さい子供たちが安心して遊べる室内の遊び場、体育館
●(子供) 屋内遊び場
●子供の室内遊び場(白石みたいな)
●子供が一日中遊べる遊具等
●公園が欲しい
●田んぼを使った遊び、学び
●キャンプできる公園
●集いの場
●スポーツした人が泊まれる合宿所・ホテル
●合宿施設
●農泊の受付スタート地点
●古民家を利用した遊び場の作成
●お祭りを大きくしたい
●農業体験
●クラウドファンディング温泉
●保育園の隣にシニアサロンで昔の遊びなどができたらいい
●雨でも子供が遊べる施設
●屋内キッズ遊び場

●サーカスのような子供が集まる大型のレジャー施設の建設
●農家レストラン系
●おいしいご飯が食べられるところ
●大型ショッピングモールの建設
●市街地以外に人が来るようなこと
●プラネタリウム
●小中一貫校、大学
●農業大学校
●工業団地
●AI関連施設(ロボットなど)
●今までの職を生かした第二の職場
●朝の渋滞解消
●有事の際にコミュニケーションが取れていないと大変

●道の駅にオートキャンプとドッグランがあったらいいなと思いました
●せっかく作った道の駅を盛り上げるために市民によるチェック機能
●自分たちで角田名産を作り出す
●日本のきくらげを作る
●テイクアウトできるランチの充実
●車以外でも行きやすく
●市民からも出資を募って道の駅温泉施設を作る
●道の駅+体育館
●貸自転車等がってサイクリングロードがあれば

●給水ポイント
●グライダー滑走場
●バイク試乗会
●ライトアップ
●水遊
●川辺で車運転
●定期的に川下る
●広い公園
●桜を植える
●花を植える
●花や木などの植物を植える
●ジェットスキー
●ボートレース等できるスポーツ
●花見できるように角田橋付近の岸に桜の木
●文化施設(お茶ができる、ものづくりができる)

●温泉
●キャンプ場
●釣り堀
●農園付きマンション
●ドッグラン
●ジェットスキー場
●カヌー施設
●土手、阿武隈川の活用
●トイレの数が少ない
●河川の改修
●街灯が少ない

●廃校になる学校を活用したい

この図面は自治体的なものを示すものであり権利関係には使用できません

4. 資料編(成果品)_角田市民が考える事業一覧

角田市民が考える事業一覧 (A～Hグループ集約)【市民単独事業】

●:市民が単独でできる

	短期(1～3年)	中期(4～6年前後)	長期(10年前後)	不明
<p>ハード</p> <ul style="list-style-type: none"> ●施設 ●道路 ●河川等 	<ul style="list-style-type: none"> ● 車同士の接触事故が多い (C) ● 集いの場 (B) ● お年寄りの集いの場 (B) ● 駄菓子屋 (B) ● お洒落なカフェ (F) ● おいしいご飯が食べられる所 (G) ● コンビニ、スーパー (D) ● 今までの職を活かした第二の職場 (E) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 循環バス、道の駅までの交通 (A、H) ● 素敵な宿泊施設 (A) ● サウナ (A) ● 土産物店 (D) ● 学生がたまるカフェスペース (E) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新しい角田中の周りの商店 (G) ● 農園付きマンション (D) ● 木材を加工する工場 (D) ● AI関連施設(ロボットなど) (D) 	
<p>ハード+ソフト</p> <ul style="list-style-type: none"> ●空家で介護 ●自習の場所 ●広場で大道芸 	<ul style="list-style-type: none"> ● サバイバル施設 (C) ● シニア世代にやさしい憩いの場 (A) ● 駄菓子屋 (F) ● 雰囲気の良いカフェ、お洒落なカフェ (A、D) ● ゆっくりできる場所(学生2人とか) (E) ● かくだTVラジオ (E) ● 音楽スタジオ (E) ● 道の駅の市民によるチェック機能 (F) ● 農業体験 (G) ● 山(自分の)レンタル (H) 	<ul style="list-style-type: none"> ● クラフトビール、地酒づくりお祭り (B) ● 農業の企業化 (C) ● 農場レストラン、農場ライブ (E) ● 角田フラワーマーケット (E) 		
<p>ソフト</p> <ul style="list-style-type: none"> ●事業承継 ●見回り支援 ●学力向上 	<ul style="list-style-type: none"> ● 田んぼアート (A) ● 牛や山羊などを放牧する (D) ● 家で眠っている着物を若者に着てもらおう (B) ● オクトーバーフェス (C) ● ファッションスナップ 雑誌とか (E) ● 角田にある企業合戦 まちづくり案を出して競い合ってもらおう (E) ● プライダル (E) ● 日本一のきくらげを作る (E) ● 角田でしか味わえない料理 (E) ● レストラン (H) ● 星空ツアーとか (E) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 道の駅の市民によるチェック機能 (B) ● 市内企業が協力して町を清掃するグリーン作戦 (E) 		

4. 資料編(成果品)_角田市民が考える事業一覧

角田市民が考える事業一覧 (A~Hグループ集約)【市民と関係機関の連携事業・行政単独事業(事業同士のつながり無)】

○:市民+行政 ☆:市民+支援機関(商工会議所やNPO)+行政 ★:その他(行政)

	短期(1~3年)	中期(4~6年前後)	長期(10年前後)	不明
<p>ハード</p> <ul style="list-style-type: none"> ●施設 ●道路 ●河川等 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 街中の曲がり角や交差点 (B) ○ 中山間のていねいな暮らし (A) ○ 釣り堀 (F) ○ 飲食スペース 軽食店舗 (F) ☆ 朝の渋滞解消 (B) ☆ ヤマザワ出入口が危険 (C) ☆ アーケードのある商店街 (D) ☆ ボートレース等できるスポーツ施設 (D) ☆ グライダー滑走場 (D) ☆ カヌー施設 (F) ☆ 商店街歩行者天国 (F) ☆ 市民駐車場の活用 (H) ★(行政) 信号がなくて危険 (D) ★(行政) 歩道がせまい (H) ★(行政) 市民センター入ロドアの透明化 (H) ★(行政) 市民センター西の十字路が波打って危険 (H) ★(行政) 町の場所・位置がわかり易い案内板設置 (H) ★(行政) 郷土資料館でのデジタル展示 (H) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 釣り堀(小田浄水場) (A) ☆ 貯水池の整備、排水 (G) ☆ 内町ため池 (G) ☆ 手湯、足湯スポット、(日帰り)温泉 (A, D) ☆ 臥牛城址の周りに水の流れ (B) ☆ 合宿施設 (E) ☆ アスレチックジム (F) ★(行政) ゴルフ場→抜け道 (A) ★(行政) 道路が低く、大雨時冠水するエリア (C, H) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 槻木まで行く途中の橋 (B) ○ 角田町、横倉、佐倉に町をまとまる (H) ○ マウンテンバイク競技場 (F) ○ コンパクトシティ、集約化 (H) ☆ 電車の本数(不便) (A) ☆ 休日専門の病院 (B) ☆ サーカスのような子供が集まる大型レジャー施設建設(G) ☆ 大型ショッピングモールの建設 (G) ☆ 小中大学一貫校 (F) ★(行政) 道が狭い (A) ★(行政) 洪水対策、河川の遊水地の設備地域 (C, D) ★(行政) 大規模Wi-Fi網 (A) ★(行政) ゴミ処理場の熱を利用する (D) ★(行政) スマートシティ化 (H) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ブロックで見えない (E) ○ ヨークの出口は事故が多い気がする(E) ☆ 台風19号被害で死者の出ない治水 (E) ☆ 車以外でも行きやすく (E)
<p>ハード+ソフト</p> <ul style="list-style-type: none"> ●空家で介護 ●自習の場所 ●広場で大道芸 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 不法投棄 (F) ○ 駅前のイルミネーション (H) ☆ eスポーツ会場 (C) ☆ 工業団地 (B) ☆ 一方通行化による人の滞留ベンチ駐車場 (B) ☆ 農家レストラン(廃校場所) (B) ☆ YouTube、ラジオの発信場所 (B, E) ☆ 街中の直売所、あぐりっと、道の駅との連携 (B) ☆ 中島南の活用 (H) ★(行政) ワーキングスペースが小さい (A) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文化施設(お茶・モノづくりができる) (E) ☆ 電車の本数を増やして欲しい (B) ☆ 泥リンピック(市民参加型) (B) ★(行政) 歩道ブロックがない (B) ★(行政) 廃業対策・事業承継 (B) ★(行政) 老々先のかじ団地の道路整備 (C) 	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 福祉施設 (B) ☆ スポーツしたい人が泊まれる合宿所・ホテル (B) ★(行政) 仙台とのアクセス道路の整備(柴田町方面) (F) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 土手、阿武隈川の活用 (F)
<p>ソフト</p> <ul style="list-style-type: none"> ●事業承継 ●見回り支援 ●学力向上 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 行政に関わる方々の市民への態度 (F) ○ 技術のオープン化、生産高を増やす (B) ○ マウンテンバイク等自転車で遊べる場所 (C) ○ イベント(飛行場)バイクの試乗会とか (E) ○ 水遊び (E) ○ 高蔵寺をもっと宣伝する (H) ☆ 市民がボランティアを行った時のポイントの付与 (F) ☆ 田園ホール開放 (B) ☆ 田園ホールへ企業名の命名権 (F) ☆ 廃校活用 (H) ★(行政) 小・中・幼 子供がいない (D) ★(行政) 農業大学校 (D) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 耕作放棄地 (D) ○ 子供を産み易く育て易くする環境づくり (B) ☆ お祭りを大きくしたい (G) 		

4. 資料編(成果品) 角田市民が考える事業一覧

角田市民が考える事業一覧 (A~Hグループ集約)【市民と関係機関の連携事業・行政単独事業(事業同士のつながり有)】

○:市民+行政 ☆:市民+支援機関(商工会議所やNPO)+行政 ★:その他(行政)

	短期(1~3年)	中期(4~6年前後)	長期(10年前後)	不明
<p>ハード</p> <ul style="list-style-type: none"> ●施設 ●道路 ●河川等 	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 広い(芝生の)広場 (A, C) ☆ オートキャンプ場(温浴施設付き) (B, H) ☆ キャンプ場 (B, C, H) ☆ 散策道、オルレ (F) ☆ ドッグラン (H) <ul style="list-style-type: none"> ○ 温泉、スケートボード場、ボルタリング (B) ○ 市民から出資を募って道の駅に温泉施設 (F) <ul style="list-style-type: none"> ★(行政) サイクリングロード (H) ★(行政) トイレ給水ポイント(マラソン、サイクリング) (H) ☆ ランニングコース(夜間) (A) <ul style="list-style-type: none"> ○ プラネタリウム (B) ○ 街灯 (F) ☆ 駐車場が遠い、科学宇宙をもっと身近に (B) <ul style="list-style-type: none"> ○ 子供達の遊び場 (B, F) ○ 子供が安心して遊べる屋内キッズ遊び場、体育館 (D, F) ○ 子供の屋内遊び場(白石みたいな) (A, D) ☆ 古民家を利用した遊び場の作成 (G) <ul style="list-style-type: none"> ☆ 田舎ぐらし施設(空家活用) (E) ☆ 郷土資料館にカフェ欲しい、ゆっくり休める場所 (G) <ul style="list-style-type: none"> ☆ 川の土手が滑りやすい(尾袋川) (D) ☆ 水上バイクで遊べる所 (H) ★(行政) 河川の改修 (D) ★(行政) 少しの雨で道路が冠水する (D) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道の駅+体育館 (D) ○ 道の駅にオートキャンプとドッグラン (D) ○ 桜を見る遊歩道 (D) ○ 花を植える (F) ○ 桜を植える (F) <ul style="list-style-type: none"> ☆ アスレチック場(屋外、大人) (A) ☆ キャンプ場、キャンプのできる公園 (A, D, E, F) ☆ 芝生、公園 (A, B) <ul style="list-style-type: none"> ○ 小児科(病院) (F) ○ 産婦人科(病院) (F) ☆ 産婦人科を作る (G) <ul style="list-style-type: none"> ○ ロケット使用の街路ライト (E) ○ JAXA コラボ宇宙服製造会社 (E) ☆ ロケット新しくていい (B) ☆ 阿武急の中をロケット・パイロット体験空間 (E) ★(行政) 街灯が少ない (D) <ul style="list-style-type: none"> ○ 川辺で車運転 (F) ○ 川辺の放棄農地の改善 (F) ☆ 定期的に川下り (F) ☆ 市街地以外に人が来るような所 (G) ☆ ジェットスキー場 (F) <ul style="list-style-type: none"> ○ 図書館以外の勉強場所 (B) ○ 中高生が勉強(雑談)できる場所 (C) ○ 静かに勉強できる施設(図書館以外) (C) ○ 学生の起業家体験施設 (E) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 30年後に育ちそうな木(並木通り) (A) ○ 角田橋付近川岸、西根に花見できる桜の木 (H) ☆ キャンプ場 (F) <ul style="list-style-type: none"> ○ 温泉施設 (A) ☆ 温泉(クラウドファンディング) (E, F) <ul style="list-style-type: none"> ○ プラネタリウム (D, E) ○ 無重力体験ができる宇宙館 (E) ☆ 宇宙飛行士学校 (C) <ul style="list-style-type: none"> ○ 駅前の人通りが少ない (A) ○ 駅前に店舗を増やす (A) 	
<p>ハード+ソフト</p> <ul style="list-style-type: none"> ●空家で介護 ●自習の場所 ●広場で大道芸 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子連れで楽しめるカフェ (C) ○ 学校帰りに立ち寄れる場所 (D) ☆ テイクアウトできるランチの充実 (H) <ul style="list-style-type: none"> ☆ 角田駅前の活性化 (H) ☆ 空き家リノベーション (A) ☆ 空き店舗の活用 容易に貸借できるシステム (F) ○ 空き店舗にベンチ (D) <ul style="list-style-type: none"> ☆ 高齢者が他人に相談できる所 (A) ☆ 保育園の隣にシニアサロンで昔の遊び等 (D) <ul style="list-style-type: none"> ○ 市内の食材を使ったグランプリ (B) ○ 音楽のある場所(年数回の野外コンサート) (A) ☆ 駅前広場にもう少しのテラス 駅前コンサート (D) ☆ 屋台村みたいな祭り (D) 	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 川遊びができる場所 (C) ☆ ジェットスキー (G) <ul style="list-style-type: none"> ○ 米づくり体験場、農作物体験場 (A) ☆ 農泊体験 (B) ☆ 農泊の受付 スタート地点 (B) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 親子が両方楽しめる場所 (E) ○ アートギャラリー (E) ☆ 農家レストラン系 (E) ☆ 若者向けのファッション通り (G) <ul style="list-style-type: none"> ○ 田んぼを使った学び・遊び (B) ○ 雨でも子供が遊べる施設 (C) ○ 子供が一日中遊べる遊具等 (C) <ul style="list-style-type: none"> ★(行政) 街灯が少ない (B) ★(行政) メイン道路の整備 LEDライトアップ等 (C) <ul style="list-style-type: none"> ○ 山道を利用したハイキングコース (D) ☆ 貸自転車等、サイクリングロード (D) ☆ アスレチック(ex 藤尾小の裏山) (G) <ul style="list-style-type: none"> ☆ 廃校利用 (A, E) ☆ 企業誘致 (A) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 病院・小児科足りない (B) ★(行政) お医者さんを育てる (B) <ul style="list-style-type: none"> ☆ 廃校(藤尾小または枝野小)給食再現レストラン (G) ☆ 廃校 空き教室学習スペースに (G) ★(行政) 大学(農業) (B) ★(行政) 職業訓練校→そのまま市内に就職できる学校 (B) <ul style="list-style-type: none"> ○ るーぶるバスのようなもの (H) ☆ 自動運転バスMaaS (H)
<p>ソフト</p> <ul style="list-style-type: none"> ●事業承継 ●見回り支援 ●学力向上 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 金津七夕の一般参加型(イベント化) (H) ☆ 祭りがしたい (E) ☆ 花火 (E) <ul style="list-style-type: none"> ☆ 角田が発信する毎日サイトを作る (E) ☆ 自分達で角田名産を作り出す (E) <ul style="list-style-type: none"> ○ 美しい田園風景 (A) ○ 伝統文化 (B) ○ 農家の手仕事、伝承空間 (E) ○ 鴨などの地元の名産品のPR・ブランド化 (B) ☆ 体験農園、農業体験 (D, E) 	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 宇宙のまちなしさ (B) ★(行政) プラネタリウム (H) <ul style="list-style-type: none"> ★(行政) ウォーキングコースを夜間も使えるように (C) ★(行政) 峰道を市町村跨いでのハイキングコース (C) <ul style="list-style-type: none"> ○ 花や木などの植物を植える (B) ☆ 月間又は週間でテーマを決め、まち全体で楽しく買物・ブラブラ歩きができる 例.音楽を流す (F) <ul style="list-style-type: none"> ★(行政) 総合病院への公的アクセス (C) ○ バス(→仙台、福島、丸森等)など、連れて行ってくれる人(物) (A) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地元に残りたくる取組 (B) ○ Iターン 高校生を巻き込む (B) ☆ 廃校 → IT企業 (F) 	

※「つながり」がある項目は同色の枠・線で表示。

4. 資料編(成果品)「角田市の将来像」アンケート

「角田市の将来像」アンケート結果まとめ

No.	将来像(都市像)	ポイント	キーワード
1	人が輝き安心して暮らせるまち かくだ	市民1人1人が「市民力」を発揮し、主体的に活動できるまち	市民力
2	人にやさしく住みよい田園都市かくだ	市民が不安・不満に感じていることを解消し、住みやすいまち	市民力
3	市民を中心としたまち	市民の意見を聞き、市民を中心としたまち	市民力
4	世代間での交流が豊富なまち	全世代が参加しやすいイベントを開き幅広い世代で交流	イベント・交流
5	ずっと住みたいまち	イベントやコラボ企画など周りの人の目につくようなことをする	イベント・交流
6	過去と未来をつなぐまち	新しいものと古くからあるものをうまく融合させ調和ある発展	既存施設活用 地域資源活用
7	住みたくなる創造都市かくだ 未来に輝く躍動都市かくだ	教育を基本に置いた人づくり、65歳以上の人が輝き活躍できる環境づくり、 自助・共助による市民力を活かしたきずなづくり、たて割行政に横ぐしを	市民力 高齢者支援
8	人と自然が輝くまち 新交流拠点かくだ	道の駅周辺の発展(温泉施設)	既存施設活用(道の駅)
9	住民が自慢したくなる田園都市かくだ	既存施設の活用(今までの様な箱もの行政はやめる。)	既存施設活用
10	各産業連携したまち	農商工連携により「かくだ」を盛り上げ、発展させる	異業種連携
11	住民が角田市の魅力に気付き誇れるまち	住民自身が角田の魅力を伝えられないため、角田市住民が角田の魅力に気付き、発信する	市民力
12	人口減少社会を現実として受け止め戦略的に縮む角田連邦	旧村単位での廃校活用、イベントによる他地域との交流による交流人口の増加	既存施設活用(廃校) イベント・交流
13	若者が残る楽しいまち 新交流都市かくだ	若い世代が地元に残りたいと思えるような誇りを持てるまち	イベント・交流
14	市内全地域が魅力あふれるまち かくだ	市の中心部以外の魅力を活かし人が集まり角田市全体が盛り上がりつつあるまちづくり	イベント・交流
15	学力向上・生活水準向上	市で生活することに対して補助金を出して欲しい	学力向上
16	地域資源活用都市	活用できる地域資源が多くある	地域資源活用
17	人が集まる宇宙のまち	「かくだ=宇宙」のイメージを定着させるためにアピール	宇宙・JAXA
18	虹(7町村・7色)が円を描くまちかくだ	安全・安心な生活が全ての根源にある 各地域の特色を活かした生活の中に角田市の将来を見出す	安全・安心
19	農地・山林を活用した1次産業を伸ばす	角田に豊富にある農地や土地を活用	農業振興
20	活き創るまちかくだ	活き活きとした市民が創るまち	市民力
21	子どもの笑顔あふれる田園交流都市かくだ	子育てしやすいまち(産科小児科)、自然を活かした遊び場	子育て支援
22	何年経っても変わらずぬ人付き合ひ	外部から客を呼ぶのではなく自分たちが楽しむ地域	イベント・交流
23	個性あふれるまち	企業や市役所に守られるのではなく、自らの力で何かを創り出す市民であふれてほしい	市民力
24	暮らしやすく楽しい元気なまち	自然を活かした遊び場、公園や施設で子育て支援 市民1人1人がまちづくりに積極的に参加できるようになってほしい	子育て支援 市民力
25	廃れた施設を基に活性化		既存施設活用
26	笑顔を未来へつなぐ都市かくだ	子どもやお年寄りが楽しく集える場所を設け地域のコミュニティを広げたり、伝統を伝えることで角田市の良い所を次の世代へつなげていく	地域コミュニティ
27	里山、家族愛都市 かくだ	市民が意識改善を行い考えることで、市民一人ひとりの点が線繋がりさらに面的な広がりを見せることで、郷土を愛する力が輪となり、かくだを良いものとする	市民力
28	人と地域がつながり幸せな暮らしの未来が描ける農商工連携都市かくだ	農商工・産官学金医の枠にとらわれずに連携し、互いの中長期ビジョンを共有することで安定的な経済・文化・観光の活性化が確保できる	異業種連携
29	安全で住み良いまち	堤防決壊等による浸水被害から、自動車で台山周辺へ避難することとして、そのための駐車場用地の確保をする 道の駅発着(送迎)による阿武隈山地のハイキングコース整備・開発	安全・安心 地域資源活用
30	人と自然と共に未来を創るあんべいいまち かくだ	全ての人を家族のようにもてなし全ての人と自然と暮らしを護る ひとりひとりがまちを創り、未来を創る私たちらしいまち	市民力
31	コンパクトシティ角田	財政健全化を協力に進める。学校を高校×1、中学×1、小学校×2にする。角田に貢献している「日立アステモ」を応援するため、雇用を守るため「ホンダ車に乗ろう」を進める。住社橋、接続道路計画を中止する。	コンパクトシティ
32	子どもを産み育てたいと思えるまち	角田市に住んでいる子どもたちが、将来の選択をする時に、このまちを離れる選択をすることがない、魅力のあるまち	子育て支援

【キーワード集計】

市民力: 10
 イベント・交流: 6
 既存施設活用: 5
 地域資源活用: 3
 子育て支援: 3
 異業種連携: 2
 安全・安心: 2
 高齢者支援: 1
 学力向上: 1
 宇宙・JAXA: 1
 農業振興: 1
 地域コミュニティ: 1
 コンパクトシティ: 1

4. 資料編(成果品)「角田市の将来像」アンケート

【参考】アンケート調査票

「角田市の将来像」について

この度は、「かくだワークショップ」にご参加いただき誠にありがとうございます。4回のワークショップを通して、各個人やグループごとに角田市の将来について検討していただきました。最後に、皆さんが考える「角田市の将来像(都市像)」についてお聞かせください。

第4回目のかくだワークショップの最後に回収させていただきます。

グループ _____

氏名 _____

■ 一言でいうと、「角田市の将来像(都市像)」は……

※ 参考：第5次長期総合計画の都市像「人と地域が輝く 田園交流都市 かくだ」

■ 上記の「角田市の将来像(都市像)」に対するコメント、説明など

～ ご協力いただき、ありがとうございました。

皆様のご意見は、第6次長期総合計画の策定に活用させていただきます。～